

メッセージ



綾瀬市 二見昇議員

75年前の8月に原爆が投下され、今もなお被爆による後遺症を患い、2019年8月の原爆死没者名簿によると、広島・長崎を合わせ50万1、787人と言われております。

核兵器禁止条約は、国連本部で122か国の賛成で採択され3年経過した今、発効に必要な批准国50か国に対し、新たに加わる見通しのフィジーを合わせ39か国に達するとの報道もあり、世界から核兵器廃絶を求め、国連本部に日本からも多くの署名が届けられ、核不拡散条約再検討会議では、核保有国も含め全会一致で核兵器のない世界を決議したが、

「核兵器のない世界」の前進はない、それは米国・ロシアをはじめ核兵器保有国が核戦力を抑止力と維持し続け、核兵器廃絶に向けた行動に踏み出していない。唯一被爆国で世界の先頭に立つべき日本政府は、核兵器の非人道性を訴えた各国の声明に、アメリカの核兵器使用に頼るといふ、この日本の政府の姿勢を改めさせるため、連合に結集する多くの仲間と連帯をして、核兵器廃絶を求め平和な社会を築くために、共に力を合わせて頑張りましょう。

綾瀬市市議会議員
二見 昇